

はじめての子ども店長

小・2 安藤 りいさ

「やりたい。」

なつ休みに入る前、パパの友だちが

「今ど、子どもがお店をひらく会をやるけど、子ども店長やってみない。」

と聞かれました。パパに、

「いつもはおきやくさんだけど、お店やさんになってみる。どうする。」

と聞かれて、家ではお店やさんごっこを弟とやっていたので、本ものできるなんて楽しそうと思ってすぐにへんじしました。

まず、何のお店にしようかかんがえました。女の子の友だちをさそってやることにしたので、大きなキラキラしているものがないなあと思いました。お母さんたちともそうだんして、おきやくさんにすきなビーズをつめてキーホルダーにする体けんがたのお店にきめました。これだけだと男の子のおきやくさんがきてくれないなと思つて、もう一つおかしが当たるわなげやさんもやることにしました。お店がかりは、全いで六人。半分ずつに分かれて、わたしはキーホルダーを作るキャンディバッグやにきめました。

つぎに、いるものじゅんびです。小さいふくろ、大きいふくろ、中に入れるパーツ、チェーンをよういしました。いるものがそろつたら、こんどはおきやくさんにせつ明するセリフを考えました。み

んなで言うことをそろえて一から五まできめました。おぼえられなかったので、かみに書いて首からかけておくことにしました。首からかけるのもなんだかお店やさんぽくなって、わくわくしてきました。それから、かんばん作りで大きいダンボールに色をぬつて、かわいたら文字を書きました。キャンディバッグキーホルダー大三百円、小二百円と分かりやすく絵もかいて、とつてもばえるかんばんになりました。かんばんにたらずガーランドをティッシュのはこを切つて作り、色もぬつて、明るいお店をめざしました。

いよいよ本ばんの日。お店に友だちと作つたかんばんをたてました。おいてみると、本とうのお店みたいでどきどきしてきました。「いらつしやいませえ。」

はじまると、すぐにおきやくさんがきてくれました。お手本を見せて

「こんなふうになりすよ。」

「すごいね。やつてみたい。」

と言つてくれて、やりかたをせつ明して、体けんしてくれました。お手本がやくに立つて、じゅんびしてよかつたなと思ひました。

「こんなかんじでいいんですか。」

「これも入れていいんですか。」

と、楽しそうにやつてくれました。キーホルダーは、おきやくさんのオリジナルなので、おきやくさんがやるところはやらぬように気をつけました。おきやくさんは、みんな一人一人すきなものをつめていて、かわいくできて、にこにこでかえつてくれました。よんだ友だちもきてくれて、たくさんおきやくさんがきてくれたので、二十六ふくろじゅんびして、二十四ふくろもうれました。とにかく

おきやくさんがいっぱい来てくれて、おひるごはんも食べる時間がないくらいいいそがしかったです。大はんじょうで、すごくうれしかったです。

子ども店長をしてみても、弟といつもあそんでいるお店やさんごっこは、店いんさんの楽しいところしかやっていかなかったけど、おきやくさんがこないときやせつ明するところや、キーホルダーにつかえるようにするところなど、こんなに大へんなことがあるとは知りませんでした。これからは、お店の人に大へんだけど一生けんめいやつてくれるんだとかんしゃして、お店に行きたいと思いました。そして、おきやくさんの気もちを大切にしておあげることわかりました。わたしはびようしになって、おきやくさんのしてほしいことをしてあげられるおきやくさんの気もちを大切にできるびようしさんになりたいです。